

授業科目名	医科遺伝学	担当教員	教授 鬼形 和道 (他 日程表に記載)
開講年次・学期	2年前期	必修/選択	必修
開講形態	講義	時間数/単位数	15時間
授業の目的			
<p>医学教育モデル・コア・カリキュラム(H28年度改訂版)に、新たに遺伝医療とゲノム医療に関わる学習目標が加わった。1つは「病因と病態」の中の「遺伝的多様性と疾患(ゲノム・染色体・遺伝子の多様性と疾患との関係を理解する)」であり、もう1つは「全身に及ぶ生理的变化、病態、診断、治療」の中の「遺伝医療・ゲノム医療と情報の特性(遺伝情報・ゲノム情報の特性を理解し、遺伝情報・ゲノム情報に基づいた診断と治療、未発症者を含む患者・家族の支援を学ぶ)」である。それぞれ、7項目と8項目の学修目標がある。分子遺伝学を学ぶとともに、遺伝カウンセリングを代表とする臨床遺伝学、そして遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮等についても概説する。卒業時に、遺伝医療およびゲノム医療に関わるチームの診療内容を十分に理解できることを目的とする。</p>			
科目の到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. メンデル遺伝および非メンデル遺伝について概説できる。 2. 染色体および遺伝子の異常による疾患について概説できる。 3. 遺伝情報の特性(不変性、予見性、共有性)を説明できる。 4. がんゲノム医療における遺伝学的検査の目的と意義を概説できる。 5. 遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。 			
授業の進め方			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義 2. Buzz、SGD(スモールグループディスカッション) 3. ケーススタディ(英語)の資料を事前配布⇒家系図作成 4. DVD視聴 5. 試験の解説 			
成績評価の方法			
<p>期末試験 60%、ミニテスト 20%、授業への感想・コメント 20% 合格基準：60点</p>			
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材			
<p>教科書は用いない。必要に応じて資料(プリント)を配布する。 <参考書> 「コアカリ準拠 臨床遺伝学テキストノート」 日本人類遺伝学会 「エッセンシャル遺伝学」 D.L.ハートル/E.W.ジョーンズ共著 布山喜章/石和貞男監訳(培風館) 「ヒトの分子遺伝学 第4版」 T. Strachan & A. P. Read著 村松正實・木南凌 監修 「カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書」 第2巻 分子遺伝学(ブルーバックス)</p>			
オフィスアワー			
月～金の講義時間を除いた時間帯			
コア・カリとの関連			
<p>医学教育 C-1-1) 生命の最小単位-細胞 C-4-1) 遺伝的多様性と疾患 E-1-1) 遺伝医療・ゲノム医療と情報の特性 F-2-3) 臨床検査</p>			